病院 概況



令和5年9月 茨城県立こころの医療センター

> 茨城県笠間市旭町 654 電話 0296 (77) 1151

茨城県の精神科医療の状況と当院の役割

(「第7次茨城県保健医療計画」より)

精神疾患は、その患者数が急増しており、平成26年には全国で390万人 を超える水準となっています。国の調査結果では、国民の4人に1人(25%) が生涯でうつ病等の気分障害、不安障害及び物質関連障害のいずれかを経 験していることが明らかとなっており、誰もが罹患する可能性のある病気 です。本県における精神疾患の入院患者数は5,898人(平成28年6月末現 在)で、通院患者数は36,130人(平成29年3月末現在)となっています。入院 患者数は減少傾向ですが、通院患者数は年々増加しています。通院患者数 の疾病別の内訳では、統合失調症が13,297人(36.8%)で最も多く、次いでう つ病等の気分障害が12,632人(35.0%)となっていますが、うつ病等の気分 障害は急増しており、また、高齢化に伴い認知症も増加しています。また、 全国の自殺者数は平成10年以降14年連続で3万人を超える水準でしたが、 平成24年に3万人を下回って以降は減少傾向を示しています。しかし、自 殺死亡率は主要国の中で高い水準にあり、依然として厳しい状況にありま す。本県における自殺死亡率(人口10万対)は、年々減少傾向にあります が、平成28年は17.1となっており、全国平均の16.8よりも高い水準で推移 しています。

県立こころの医療センターは、県内精神科医療の基幹病院として、次の 医療等を提供しています。

- ・ 統合失調症などの精神疾患に関する診断治療のほか、精神科救急医療や児童・思春期精神疾患,発達障害,薬物・アルコール依存症,医療観察法対象患者に対する精神科専門医療を提供するとともに、睡眠障害の診断治療を行っています。
- ・ 重度の症状を呈する精神科急性期患者等に対応するため、医師・看 護師等を常時配置する常時対応型精神科救急医療施設としての役割を 果たしています。
- ・ 患者の症状や病態に応じた適切な医療を提供するためには、医療機関同士が相互に連携協力することが重要であることから、関係機関とのネットワークづくりを推進しています。
- ・ 在宅の精神障害者を支援するため、医師や看護師、精神保健福祉士 等が積極的に地域に出向き、往診や訪問看護、市町村における会議や 訪問活動への参加など、アウトリーチ活動を実施しています。
- 新興感染症感染拡大等に対応するため、平時から、陰圧病床ユニットとして稼働できる体制維持に努めています。

目 次

Ι	病院の沿革	 . 4
Π	組織	
Ш	職種別職員現員調	
ш IV		
	1 敷地・建物	
	(1)敷地面積	
	(2)建物面積	
	2 診療科目	 . 8
	3 病床数	 . 9
	4 施設基準等	 . 9
	5 患者の状況	 10
	(1) 外来患者	 10
	(2)入院患者	 11
	(3) 病棟別病床利用の状況	
	(4) 在院患者の疾病区分	
	(5) 在院患者の年齢構成	
	(6) 在院患者の費用区分	
	(7) 在院患者の在院期間	
	· / I=0-1=	
	(9) 新規入院患者の入院形態	
	(10) 病棟別新規入院患者の入院形態別患者数(令和4年度)	
	(11) 退院患者の在院期間	
	(12) 退院患者の転帰別状況	
	(13) 診療圏	
	6 専門医療	 17
	(1) 精神科救急医療	 17
	(2) 薬物等中毒性精神障害治療	 17
	(3) 児童・思春期精神科医療	 18
	① 外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移	 18
	② 20歳未満の初診患者の年齢構成	 18
	③ 児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移	
	④ 入院患者の動向(児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移)	
	(4) 医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数	
	7 各部門の実施状況	
	(1) リハビリテーション部	
	① デイケア	
	·	
	③ 理学療法	
	(2)総合診療部	
	① 心理室	
	② 栄養科	
	③ 薬剤科	
	④ 研究検査科	
	(3) 福祉連携サービス部	 26
	① 医療福祉相談室	 26
	② 地域医療連携室	 26
	(4) 訪問看護	 29
i	ii 睡眠医療クリニック	
•	1 外来患者	
	2 主な検査実績	
	3 診療圏	
	○ ₩ /// File	 01

V	決算の状況	32
1	└ 揖益計算書(税抜き)	32
2	2 貸借対照表(税抜き)	33
3	3 財務分析	34
4	1 経営分析	35
	令和 5 年度予算	
1	L 収益的収入及び支出	36
2	2 資本的収入及び支出	36

I 病院の沿革

当院は、東茨城郡下中妻村(現在の水戸市(旧内原町))にあった全国農業会内原病院を買収し、県内唯一の県立精神病院として、精神衛生法が制定された昭和25年5月に茨城県立内原精神病院として開設された。

しかし、開院後まもなく病床の不足をきたしたため、施設の拡充整備を重ね、医療需要に対応してきたが、更なる病床不足、敷地の狭隘、施設の老朽化等のため、昭和30年に病院の再建計画が始まり、昭和35年8月、現在地に茨城県立友部病院として開設された。

当院は開設当初から、患者の社会復帰の促進を念頭においた思い切った病棟開放性の導入など、積極的な開放治療を展開し、一般科病院との格差是正を試み、全国から「東洋一」として注目を浴びた。

その後も、本県における精神科病院の基幹病院として治療困難な患者の受け入れを行うとともに、生活療法、作業療法、レクリエーション療法及び精神科デイケアを積極的に推進するなど、精神障害者の社会復帰に成果を上げてきた。

また、精神科医療の臨床実習・研修病院として県内の看護専門学院(校)、筑波大学,茨城大学等の実習学生等を受け入れ、実地指導を行うとともに、臨床研修医の研修病院として専門医の養成と教育の場としても貢献している。

平成8年4月からは、訪問看護に2名の専任の専門職員を配置し、社会生活支援活動を実施し、平成16年4月には、患者の社会復帰を促進するとともに、地域における精神障害者の支援等,総合的な地域精神保健対策を進めるため、新たに社会復帰支援室を設け、患者の社会復帰促進事業にも力をいれている。また、長期入院患者(社会的入院患者)の社会復帰を促進した結果、病棟間において医療・看護サービスに格差が生じたため、平成8年7月に、12病棟を11病棟に統合した。

さらに平成11年4月には10病棟へ、平成16年4月には9病棟、平成18年4月には、8病棟、平成19年4月には、7病棟と統廃合を行った。

一方、平成14年7月には新たに児童・思春期専門病棟32床を開設するなど、効率の良い運用と管理体制の整備による再編成を推進している。

また、開設以来実施されてきた性別看護にかえて、男性及び女性看護師による混合看護を平成8年度より1ヶ病棟において開始し、現在は全病棟で実施している。

これら病棟の再編成等を進めるとともに、精神障害のために自傷・他害のおそれがあり、かつ緊急に医療及び保護が必要と認められる精神障害者に対し、精神保健福祉法第24条の規定に基づく警察官通報に限定した休日(昼間)の救急業務を平成8年10月に開始、更に平成16年3月には平日夜間(21時まで受付)に拡大、平成19年4月には24時間365日の受入れを開始した。

また、平成17年度からは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(医療観察法)」の規定に基づく鑑定入院及び指定通院医療の受け入れを開始、平成20年8月からは、3-1病棟において精神科救急入院料いわゆるスーパー救急の算定を開始するなど更なる手厚い看護の実施と政策医療にも積極的に取り組んでいる。

平成18年度からは、病院運営の効率化や経営の健全化を図ることを目的として地方公営企業法の全部 適用による運営を行っている。

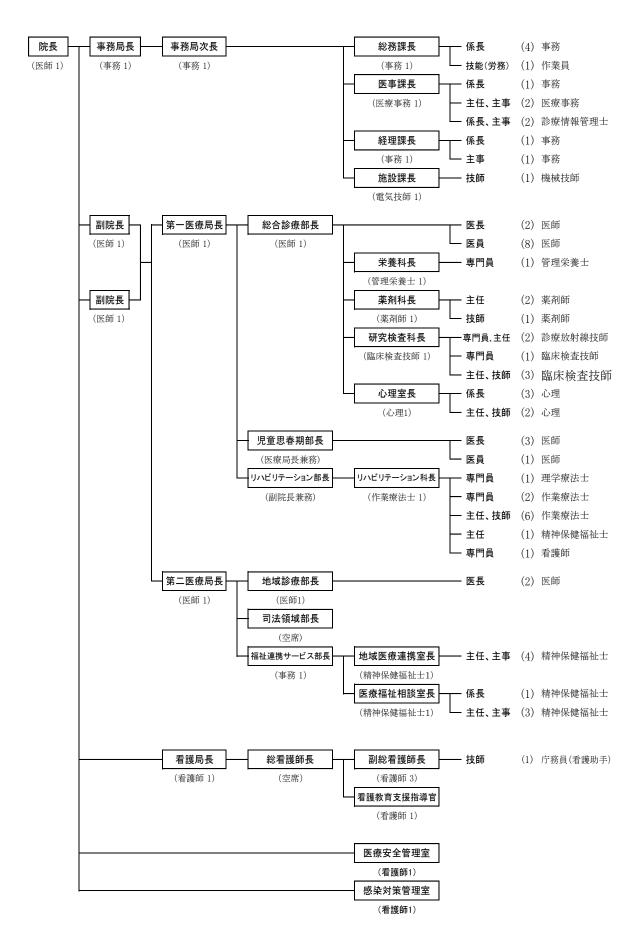
病院建築後49年が経過し、施設・設備の老朽化・狭隘化により、入院・外来患者に対する望ましい医療サービスの提供や県民の多様化する精神科医療のニーズに十分対応することが困難な状況となっていることから、県立友部病院の運営とあり方に検討が進められ、平成19年5月に報告書が示された。この報告書の提言を踏まえ、平成19年9月、県民の求める安心・安全な、質の高い精神科医療の実現のため、『新生友部病院』開院を目指し、平成21年8月に工事に着手した。

平成23年4月に「茨城県立こころの医療センター」と名称を変更。10月1日に新病院で診療開始。 平成27年4月に院内に睡眠障害の検査・治療及び臨床研究を行う「茨城県睡眠医療センター」を開設 し、さらに、平成29年1月には、水戸市内に当院の付属医療機関として「県立睡眠医療クリニック」を 開設。令和2年3月より新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策として、入院患者の外泊等 及び家族等による面会の制限、他機関との連携の制限、外来診療における電話診療等に取り組んでいる。

令和3年10月に「県立睡眠医療クリニック」は県としての一定の役割を果たしたことから閉院し、本院のみの診療とした。

病院開設以来の主な歩み

```
昭和25年 5月
           茨城県立内原精神病院開設(113床)
昭和32年10月
           茨城県立内原病院と改称
           茨城県立友部病院設置・内原病院を友部病院内原分院に改組
昭和35年 6月
昭和35年 8月
           茨城県立友部病院開設(180床)
           茨城県立友部病院内原分院廃止
昭和39年10月
昭和42年 4月
           日本精神神経学会より「呉秀三賞」受賞
          Ⅱ類基準看護承認(48年9月Ⅰ類に変更,53年1月特Ⅰ類に変更)
昭和45年 9月
           精神障害者社会復帰施設「デイケアーセンター」竣工
昭和50年12月
昭和51年12月
           (病床数611床)となる
           厚生省認可「精神科デイケア施設」として開所
昭和55年 7月
昭和61年 3月
           レクリエーションセンター竣工
昭和61年 8月
           精神科作業療法の施設基準の承認
平成 元年10月
           応急入院指定病院に指定
平成 5年 7月
           「茨城県立友部病院将来構想」策定
平成 6年 3月
           「茨城県立友部病院改築整備基本計画」策定
平成 6年 4月
           プロジェクトチーム「社会生活支援室」を設置
平成 8年 7月
           2病棟統合, 1病棟を休棟・男女混合勤務(看護)を実施
平成 8年10月
           精神科救急の実施(精神保健福祉法第24条適用)
平成10年 5月
           2病棟で男女混合勤務を実施
平成11年 4月
           2病棟統合, 1病棟を休棟
平成12年 4月
           適時適温給食を実施
平成12年10月
           茨城県立友部病院開設50周年記念式典
平成14年 7月
           児童・思春期専門病棟(つくし)開設 (病床数589床)となる
平成16年 2月
           (病床数586床)となる
           精神科救急を平日夜間(9時まで受付)まで拡大
平成16年 3月
平成16年 4月
           2病棟統合, 1病棟を休棟
                        「社会復帰支援室」を設置
平成17年 3月
           (病床数583床)となる
平成18年
           (病床数576床)となる
      3月
平成18年 4月
           1病棟を休棟、(病床数573床)となる
           地方公営企業法の全部適用に伴い、保健福祉部から病院局の所管となる
           1病棟を休棟、 (病床数558床) となる
平成19年
      4月
           精神保健福祉法第24条に基づく患者について、24時間365日受入れを開始
平成20年 2月
           「県立友部病院整備基本計画」策定
平成20年 4月
           (病床数547床)となる
平成20年 8月
           精神科救急入院料算定開始
平成21年
      5月
           (病床数541床)となる
平成23年 4月
           茨城県立こころの医療センターと改称
           新病院で診療を開始, (病床数537床)となる
平成23年10月
           医療観察法病棟開棟・指定入院医療機関として処遇開始
平成24年 4月
           東京建築賞「最優秀賞」受賞
平成25年 8月
           全国自治体病院協議会精神科特別部会 第51回総会·研修会開催
平成26年 4月
           医療福祉建築賞受賞
平成27年 4月
           院内に「茨城県睡眠医療センター」を開設
平成27年12月
           (病床数535床)となる
           「県立睡眠医療クリニック」を水戸市内に開設
平成29年 1月
平成29年11月
           (病床数525床)となる
令和3年10月
           「県立睡眠医療クリニック」を閉院
```



Ⅲ 職種別職員現員調

令和5年4月1日現在

	職群		=	事務	職								技術	職							技能	能労	務職	ŧ		臨時	詩的信	任用.	職員				会	計年	度任	用單	銭員				育	休補	助墹	溳	駐	往
区分	職種	一般事務・医療事務	診療情報管理士	心理判定員	精神保健福祉士	小計	機械	電気		<u> </u>	薬 利币	管理栄養士	学療法	作業療法士	保健師	看護師	診療放射線技師	臨床検査技師	· · · 計	官糸貨	営善員	作業員		小計	合計	精神保健福祉士	看護師	事務	合計	医師(研修医以外)	医師(研修医)	薬剤師	栄養士	精神保健福祉士	事務	看護助手(庁務員等)	自殺予防・特電交付金	看護師	臨床検査技師	合計	精神保健福祉士	心理判定員	看護師	合計	看護師	合計
(1)配置定		14	2	7	15	5	_	1	-	25	5	2	1	9	•	178	-	-	6 23	_	0	1	0	1	269	ľ				/	_	\angle	_	_	_						\angle		\angle		\angle	
(2)在籍職		14	2	7	14	37	_	1	1 2	23	5	2	1	9	0	179	2	(6 22	29	0	1	1	2	268	0	0	0	0	11	4	1	1	2	7	11	2	2	3 1	43	0	0	0	0	0	0
	任用短時間職員)															7																									_					
(3)	休職			1	2	3	}				1					2		<u>L</u>	1	4				0	 7				0									_		0		L		0		0
定数外	派遣				ļ	0)													0				0	 0				0											0				0		0
職員数	長期療休					0)													0	-			0	0				0											0				0		0
(4)差引現	人員(2)一(3)	14	2	6	12	34	ļ	1	1 2	23	4	2	1	9	0	177	2	,	5 22	25	0	1	1	2	261	0	0	0	0	11	4	1	1	2	7	11	2	2	3 1	43	0	0	0	0	0	0
(〇数字は再	任用短時間職員)															7																								0						0
正職員				l	Т				T	T	T	T				Γ	T	T			T	T			 	Ī		Γ	T		<u> </u>			<u> </u>	<u> </u>		Γ	T	1			ľ				0
	男	11	2	2	6	21		1	1 1	18	3			4		91	1	1	2 12	21			1	1	143				0	8	3									11				0		0
	女	3		5	8	16	3			5	2	2	1	4		87		4	4 10)5	1			0	121				0	3	1	1	1	2	7	11	2	2	3 1	32				0		0
再任用(7)	1 / 3/4)								T		7	7						T			Ť	T			 	Ī		Π						<u> </u>				T								0
	男					0)				-					1	1		1	2		1		1	3				0											0				0		0
	女					0)							1						1				0	1				0											0				0		0
再任用(短	時間勤務)							1	1	\top	1	7				T		T			7	7			 			T	<u> </u>			-					Ī	T	1			1	<u> </u>			
	男															3				3					3																					
	女										-					4				4					4																					
過不足(4))—(1)	0	0	Δ1	Δ3	Δ 4	1	0	0 △	Δ 2 Δ	1	0	0	0	0	#REF	· (Δ	1 Δ	5	0	0	1	1	Δ8																					

Ⅳ 概 況

i こころの医療センター

1 敷地・建物

(1) 敷地面積

病院敷地 128,683.96 ㎡

(2)建物面積

	建物	建築面積(m²)	延 (m²)
	新病院本館	8, 641. 67	14, 820. 69
新病	思春期デイケア棟	207.00	175. 89
院	医療観察法病棟	1, 889. 23	1, 851. 76
	計	10, 737. 90	16, 848. 34
	農耕作業棟	198.70	198. 70
	温室	68.04	68. 04
	デイケア施設	1, 298. 44	1, 298. 44
	1 病棟	845.62	845. 62
	2 病棟	1, 082. 34	1, 082. 34
	3 病棟	738. 72	1, 646. 28
	5 病棟	777.60	1, 724. 04
旧	サービス棟	989. 08	989. 08
病	第2サービス棟	205. 20	205. 20
///	倉庫 (布団庫)	58. 32	58. 32
院	プロパンボンベ舎	12.66	12.66
	貯水槽ポンプ舎	7.08	7.08
	オイルギアポンプ舎	4. 30	4. 30
	ポンプ舎	3. 21	3. 21
	変電室	38.88	38. 88
	裁縫作業所	26. 50	26. 50
	動物舎	41.16	41. 16
	計	6, 395. 85	8, 249. 85

2 診療科目

精神科 児童精神科 心療内科

3 病床数

令和5年4月1日現在 許可525床 運用276床

13 J H	0 1 1/1 1		11.1070//	Œ/11	2 1 0 0 0	
痄		定床数	運用病床数	性別	開閉別	摘要
	1 – 1	40 (10)	40 (10)	混合	閉鎖	救急医療
	1-2	45 (8)	45 (8)	混合	閉鎖	合併症・総合医療
	1 - 3	36 (4)	36 (4)	混合	閉鎖	児童思春期医療
新病	1 - 5	18 (1)	18 (1)	混合	閉鎖	医療観察法
院	2-1	34 (13)	34 (13)	混合	閉鎖	急性期
PL	2 - 2	43 (10)	43 (10)	混合	閉鎖	救急医療
	2 - 3	60 (6)	60 (6)	混合	開放・閉鎖	社会復帰
	計	276 (52)	276 (52)			
	1	31 (2)	0 (0)			休棟
	2	48 (2)	0 (0)			休棟
旧	3 – 1	37 (9)	0 (0)			休棟
病	3 - 2	44 (0)	0 (0)			休棟
院	5 – 1	41 (0)	0 (0)			休棟
	5 - 2	48 (2)	0 (0)			休棟
	計	249 (15)	0 (0)			
	合計	525 (67)	276 (52)			

^{*} 定床数、運用病床数のうち() 書きは保護室等強化した個室の数で内数である。

4 施設基準等 (令和5年4月1日現在)

精神科救急急性期医療管理料(83 床) 精神科急性期治療病棟入院料1 (34 床) 児童·思春期精神科入院医療管理料(36 床) 精神病棟入院基本料15対1(105床)

臨床研修病院入院診療加算

診療録管理体制加算2

救急医療管理加算

看護配置加算

看護補助加算1

療養環境加算

精神科応急入院施設管理加算 精神病棟入院時医学管理加算 精神科地域移行実施加算 精神科身体合併症管理加算

医療安全対策加算1 感染防止対策加算 2

精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 精神科急性期医師配置加算1,2 摂食障害入院医療管理加算

依存症入院医療管理加算 後発医薬品使用体制加算3 精神科退院時共同指導料 認知療法・認知行動療法 I ニコチン依存症管理料 薬剤管理指導料

在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料遠隔モニ

検体検査管理加算 II

遠隔画像診断

タリング加算

MRI 撮影 (3.0 テスラ以上)

CT 撮影 (16 列以上)

児童思春期精神科専門管理加算

精神科作業療法

精神科ショート・ケア (大規模)

精神科デイ・ケア(大規模)

治療抵抗性統合失調症治療指導管理料

医療保護入院等診療料

入院時食事療養費 (I)

患者の状況 (1) 外来患者

単位:人

																十一年・ノく
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
	初	診	88	112	118	122	125	102	125	120	100	114	101	96	1, 323	
平成 29 年度	再	診	5, 417	5, 535	5, 613	5, 512	6, 014	5, 396	5, 755	5, 877	5, 675	5, 418	5, 280	5, 880	67, 372	281.5 (244 日)
	延患者	数	5, 505	5, 647	5, 731	5, 634	6, 139	5, 498	5, 880	5, 997	5, 775	5, 532	5, 381	5, 976	68, 695	, , ,
	初	診	98	105	107	130	108	91	113	105	98	88	95	104	1, 242	
平成 30 年度	再	診	5, 383	5, 888	5, 395	5, 626	5, 989	5, 008	5, 939	5, 719	5, 439	5, 260	5, 078	5446	66, 172	276.3 (244 日)
	延患者	数	5, 483	5, 993	5, 502	5, 756	6, 097	5, 099	6, 052	5, 824	5, 537	5, 348	5, 173	5, 550	67, 414	, ,
	初	診	97	93	109	125	104	105	112	85	104	106	97	85	1, 222	
令和元年度	再	診	5, 317	5, 518	5, 267	5, 903	5, 239	5, 338	6, 054	5, 395	5, 517	5, 553	4, 970	5, 719	65, 790	276.9 (242 日)
	延患者	数	5, 414	5, 611	5, 376	6, 028	5, 343	5, 443	6, 166	5, 480	5, 621	5, 659	5, 067	5, 804	67, 012	, , ,
	初	診	110	87	132	101	87	113	103	89	97	100	97	120	1, 236	
令和2年度	再	診	5, 562	4, 764	5, 315	5, 840	5, 226	5, 454	5, 861	5, 224	5, 556	5, 266	4, 859	5, 950	64, 877	272.1 (243 日)
	延患者	数	5, 672	4,851	5, 447	5, 941	5, 313	5, 567	5, 964	5, 313	5, 653	5, 366	4, 956	6,070	66, 113	
	初	診	144	164	200	161	136	128	131	112	114	129	152	155	1, 726	
令和3年度	再	診	5, 652	5, 043	5, 560	5, 643	5, 546	5, 553	5, 609	5, 585	5, 646	5, 303	5, 114	6, 018	66, 272	281.0 (242 日)
	延患者	ó 数	5, 796	5, 207	5, 760	5, 804	5, 682	5, 681	5, 740	5, 697	5, 760	5, 432	5, 266	6, 173	67, 998	, , ,
	初	診	138	132	135	132	134	70	103	107	132	112	119	132	1446	
令和 4 年度	再	診	5, 596	5, 381	5, 639	5, 542	5, 913	5, 739	5, 445	5, 298	5, 581	5, 263	5, 053	6, 154	66, 604	280.0 (243 日)
	延患者	首数	5, 734	5, 513	5, 774	5, 674	6, 047	5, 809	5, 548	5, 405	5, 703	5, 375	5, 172	6, 286	68, 050	

(2) 入院患者

単位:人

7 CPULICIA																
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
	入	院	74	78	71	78	74	75	70	60	73	71	71	70	865	217. 9
平成 29 年度	退	院	69	63	80	73	76	81	66	69	79	52	79	67	854	(365 日)
	延患	者数	6, 221	6, 809	6, 781	7, 043	6, 911	6, 576	6, 829	6, 394	6, 408	6, 574	6, 161	6, 836	79, 543	
	入	院	62	72	82	94	87	68	71	78	66	74	49	69	872	227. 5
平成 30 年度	退	院	68	76	78	68	102	54	78	70	71	73	41	78	857	(365 日)
	延患	者数	6, 306	5, 617	6, 270	7, 053	7, 174	6, 802	7, 194	7, 090	7, 354	7, 258	6, 563	7, 443	83, 024	
	入	院	61	66	77	81	60	64	69	76	68	77	64	78	841	216. 5
令和元年度	退	院	71	80	63	73	78	74	65	69	78	62	70	81	864	(366 日)
	延患	者数	6, 857	6, 779	6, 504	7, 231	6, 929	6, 254	6, 340	6, 243	6, 516	6, 556	6, 406	6, 628	79, 243	
	入	院	71	69	66	90	84	84	80	73	62	74	62	87	902	
令和2年度	退	院	71	64	68	83	93	81	65	82	69	79	67	79	901	215.5 (365 日)
	延患	者数	6, 314	6, 591	6, 425	6, 856	6, 738	6, 472	6, 782	6, 765	6, 727	6, 457	5, 721	6, 813	78, 661	` , , ,
	入	院	65	66	85	74	77	52	75	57	69	43	50	66	779	
令和3年度	退	院	69	77	76	61	79	82	59	59	67	68	49	72	818	200.7 (365 日)
	延患	者数	6, 276	6, 544	6, 275	6, 654	6, 751	5, 925	6, 060	6, 079	6, 239	5, 953	4, 910	5, 592	73, 258	(===, , , ,
<u> </u>	入	院	69	66	73	59	48	66	63	51	61	56	61	60	733	
	退	院	56	50	75	68	60	70	48	66	55	51	60	69	728	186.3 (365 日)
	延患	者数	5, 445	5, 867	6, 197	6, 077	5, 655	5, 395	5, 757	5, 558	5, 499	5, 747	5, 158	5, 640	67, 995	(=== , , ,

(3) 病棟別病床利用の状況

71 4 12 12 23 47 14 14 14 14 14 14		1-1病棟	1-2病棟	1-3病棟	2-1病棟	2-2病棟	2-3病棟	小計	1-5病棟	合計
運用病床数	令和元年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
(各年度末)	令和2年度	40	45	35	35	43	60	258	18	276
	令和3年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
(床)	令和4年度	40	45	36	34	43	60	258	18	276
延患者数	令和元年度	12, 784	12, 558	10, 125	10,665	13, 022	14, 011	73, 165	6, 078	79, 243
Ze. 1 30	令和2年度	12, 554	9, 713	9, 731	10, 788	12, 535	17, 313	72,634	6, 027	78, 661
(令和3年度	12, 156	4, 648	9, 315	11,047	11, 706	17, 998	66, 870	6, 388	73, 258
(人)	令和4年度	10, 700	4, 905	7, 450	10, 918	11, 744	16, 103	61, 820	6, 175	67, 995
1日平均	令和元年度	34. 9	34. 3	27. 7	29. 2	35. 6	38. 3	199. 9	16.6	216. 5
患者数	令和2年度	34. 4	26. 6	26. 7	29. 5	34. 3	47. 4	199. 0	16. 5	215. 5
()	令和3年度	33. 3	12. 7	25. 5	30. 3	32. 1	49. 3	183. 2	17. 5	200. 7
(人)	令和4年度	29. 3	13.5	20. 4	29. 9	32. 2	44. 1	169. 4	16. 9	186. 3
病床	令和元年度	87.3	76. 3	79. 0	83. 3	82. 7	63.8	77.5	92. 2	78. 4
利用率	令和2年度	86.0	59. 1	76. 2	84. 4	79. 9	79. 1	77. 1	91.7	78. 1
(対運用病床)	令和3年度	83. 2	28. 1	72.8	86. 6	74. 5	82.2	71.0	97. 2	72.7
(%)	令和4年度	73. 3	29. 9	56. 7	87. 9	74. 9	73. 5	65.7	94.0	67. 5
新入院	令和元年度	233	11	77	212	236	69	838	3	841
新 入 院 患 者 数	令和2年度	258	27	143	134	271	62	895	7	902
	令和3年度	202	41	101	115	251	61	771	8	779
(人)	令和4年度	182	42	111	136	212	45	728	5	733
退院	令和元年度	214	44	91	208	200	104	861	3	864
患者数	令和2年度	224	45	160	129	248	88	894	7	901
()	令和3年度	191	41	136	118	231	95	812	6	818
(人)	令和4年度	154	49	130	134	184	69	720	8	728
平均	令和元年度	56. 2	455. 1	119. 5	49.8	58.8	160.8	85. 1	2025. 0	91. 9
在院日数	令和2年度	51.1	268. 5	63. 1	80. 9	47.3	229.6	80. 2	860. 0	86. 2
(-)	令和3年度	60.9	156. 1	78. 7	93.0	47.5	232. 0	84. 4	1211.3	91. 7
(目)	令和4年度	62.7	106. 7	60.7	79.8	58.3	281. 2	84.3	948. 7	92.0

(4) 在院患者の疾病区分

単位:人

年度 区分	統 合 失調症	気 分障害圏	器質性 精神障害	精神神経症	その他 精神病	てんかん	中毒性 精神障害	精神遅滞	その他	精神 病質	計
平成 29 年度末	130	37	11	10	15	2	6	2	0	1	214
平成 30 年度末	118	37	1	14	30	1	14	6	8	I	229
令和元年度末	114	33	6	15	24	1	3	9	1	I	206
令和2年度末	117	28	4	4	31	2	10	3	8	I	207
令和3年度末	101	26	4	7	17	0	6	6	1	ı	168
令和 4 年度末	111	26	5	3	17	0	7	3	0	1	173

(5) 在院患者の年齢構成

<u>単位:人</u>

								<u> </u>
年度 区分	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	5 0歳以上 6 0歳未満	6 0歳以上 7 0歳未満	70歳以上	計
平成 29 年度末	21	17	21	41	50	30	34	214
平成 30 年度末	36	30	24	36	46	28	29	229
令和元年度末	31	21	27	33	40	28	26	206
令和2年度末	30	24	30	39	35	24	25	207
令和3年度末	22	22	25	28	36	18	17	168
令和4年度末	20	18	23	21	40	34	17	173

(6) 在院患者の費用区分

単位:人

年度 区分	措置	国民健 康保険	社会 保険	老保 後期高齢者	生活 保護	医 療 観察法	その他	計
平成 29 年度末	5	95	51	18	27	16	2	214
平成 30 年度末	4	101	74	11	21	16	2	229
令和元年度末	6	88	57	15	19	16	5	206
令和2年度末	4	93	64	8	22	16	0	207
令和3年度末	4	74	50	5	17	18	0	168
令和4年度末	10	70	49	6	22	15	1	173

※医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(7) 在院患者の在院期間 単位:人												
年度 区分	1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10 年以上	計							
平成 29 年度末	150	46	8	10	214							
平成 30 年度末	152	54	13	10	229							
令和元年度末	139	42	17	8	206							
令和2年度末	149	34	17	7	207							
令和3年度末	115	36	10	7	168							
令和4年度末	119	35	12	7	173							

(8) 在院患者の入院形態別

227.71.		
単位	٠	٨
11 11/		/\

年度 区分	措置入院	医療保護入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計
平成 29 年度末	5	153	0	39	16	1	214
平成 30 年度末	4	159	0	48	16	2	229
令和元年度末	6	147	0	34	16	3	206
令和2年度末	4	150	0	37	16	0	207
令和3年度末	4	116	0	30	18	0	168
令和4年度末	10	120	0	27	15	1	173

[※]医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(9) 新規入院患者の入院形態

単位:人

年度 区分	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計
平成 29 年度	80	426	1	349	9	0	865
平成 30 年度	56	457	3	351	3	2	872
令和元年度	40	420	11	363	3	4	841
令和2年度	45	554	9	285	7	2	902
令和3年度	40	489	5	235	8	2	779
令和4年度	66	420	4	233	5	5	733

[※]医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

(10) 病棟別新規入院患者の入院形態別患者数(令和3年度) 単位:人											
区分 病棟	措置入院	医療保護 入 院	応急入院	任意入院	医 療 観察法	その他	計				
1-1病棟	32	98	2	50	0	0	182				
1-2病棟	7	33	0	2	0	0	42				
1-3病棟	1	84	0	26	0	0	111				
2-1病棟	0	73	0	61	0	2	136				
2-2病棟	26	129	2	52	0	3	212				
2-3病棟	0	5	0	40	0	0	45				
小 計	66	420	4	233	0	5	728				
1-5病棟	0	0	0	0	5	0	5				
合 計	66	420	4	233	5	5	733				

[※]医療観察法には、入院処遇(特定医療施設入院を含む)及び同法による鑑定入院患者を含む。

24

24

<u>単位:人</u>

728

(11) 退院患者の在院期間

年度	3ヶ月未満	3ヶ月以上 6ヶ月未満	6ヶ月以上 1 年未満	1年以上	計
平成 29 年度	697	94	31	32	854
平成 30 年度	693	107	26	31	857
令和元年度	689	91	47	37	864
令和2年度	736	102	30	33	901
令和3年度	661	94	28	35	818

71

(12) 退院患者の転帰別坐温

609

令和4年度

(12) 退隊	院患者の転帰別状況 単位 <u>単位</u>												
	区分			転	帰				退隊	完先		計	
年度		寛解	軽快	悪化	未治 不変	死亡	その他	自宅	施設	転院	その他	司	
平成 2	29 年度	0	642	1	209	2	0	639	117	90	8	854	
平成 3	30 年度	12	631	0	211	3	0	661	120	67	9	857	
令和力	元年度	26	617	0	217	4	0	690	114	54	6	864	
令和	2年度	0	746	0	151	4	0	672	142	83	4	901	
令和	3年度	2	702	1	108	5	0	613	140	63	2	818	
令和	4年度	1	664	0	60	3	0	527	141	58	2	728	

(13) 診療圏

① 在院患者(令和5年3月31日現在)

	市郡名		患者数人	構成比 %		市郡名		患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水	戸	市	45	26.0	鹿	嶋	市	3	1. 7	東茨城郡	7	4.0
日	<u> </u>	市	6	3. 5	潮	来	市	2	1.2	那 珂 郡	1	0.6
土	浦	市	7	4.0	守	谷	市	0	0	久 慈 郡	1	0.6
古	河	市	3	1. 7	常『	幸大 🛭	宮市	1	0.6	稲 敷 郡	1	0.6
石	岡	市	4	2. 3	那	珂	市	7	4.0	結 城 郡	1	0.6
結	城	市	0	0	筑	西	市	4	2. 3	猿 島 郡	2	1.2
龍	ケ崎	市	1	0.6	坂	東	市	1	0.6	北相馬郡	1	0.6
下	妻	市	2	1.2	稲	敷	市	0	0	郡計	14	8. 1
常	総	市	0	0	かす	みがう	ら市	1	0.6	県内合計	169	97. 7
常	陸太田	市	4	2. 3	桜	Ш	市	3	1. 7			
高	萩	市	0	0	神	栖	市	4	2.3	東京都	0	0
北	茨 城	市	1	0.6	行	方	市	0	0	その他県	4	2. 3
笠	間	市	29	16.8	鉾	田	市	3	1. 7	県外合計	4	2. 3
取	手	市	3	1. 7	つく	ばみら	い市	1	0.6			
牛	久	市	2	1.2	小	美 玉	市	6	3. 5			
つ	くば	市	4	2. 3	†	ĵ	計	155	89.6			
ひが	きちなか	市	8	4. 6						総計	173	100

② 外来患者(令和4年度)

	市郡名		患者数人	構成比 %	Ī	市郡名	7	患者数 人	構成比 %	市郡名	患者数 人	構成比 %
水	戸	市	1,544	21.9	鹿	嶋	市	79	1. 1	東茨城郡	344	4. 9
日	<u> </u>	市	303	4. 3	潮	来	市	49	0.7	那 珂 郡	90	1.3
土	浦	市	153	2.2	守	谷	市	27	0.4	久 慈 郡	17	0.2
古	河	市	20	0.3	常图	幸大 🏻	宮市	116	1.6	稲 敷 郡	53	0.8
石	畄	市	366	5. 2	那	珂	市	150	2. 1	結 城 郡	3	0.1
結	城	市	32	0.5	筑	西	市	112	1.6	猿 島 郡	13	0.2
龍	ケ崎	市	30	0.4	坂	東	市	22	0.3	北相馬郡	4	0.1
下	妻	市	33	0.5	稲	敷	市	16	0.2	郡計	524	7.4
常	総	市	18	0.3	かす	みがう	ら市	66	0.9	県内合計	6, 866	97. 4
常	陸太田	市	160	2.3	桜	Ш	市	161	2.3			
高	萩	市	49	0.7	神	栖	市	98	1.4	東京都	28	0.4
北	茨 城	市	54	0.8	行	方	市	104	1.5	その他県	151	2. 2
笠	間	市	1344	19. 1	鉾	田	市	194	2.8	県外合計	179	2.6
取	手	市	40	0.6	ゃく	ばみら	い市	18	0.3			
牛	久	市	46	0.7	小	美 玉	市	320	4. 5			
つ	くば	市	177	2.5	Ħ	ĵ	計	6, 341	90.0			
ひた	こちなか	市市	440	6. 2						総計	7, 044	100

6 専門医療

(1) 精神科救急医療

	781177132	精神保健福祉法警察官通報							左	記以	外の	申詞	青•	通報	等	_	一般				計	ŀ	
		診	入	(入	内訳 院形 医		休夜年		診	入	(入	内訳 院形 医		休夜年		診	入		日 間 掲)	診	入	休夜(再	間
				措置(緊急	療	の	診	入			措置(緊急	療	の	診	入			診	入			診	入
		察	院	(緊急措置)	保護	他	察	院	察	院	(緊急措置)	保護	他	察	院	察	院	察	院	察	院	察	院
2	平成 29 年度	102	87	76	11	0	94	80	7	5	3	2	0	2	2	1, 213	420	237	104	1, 322	513	333	186
2	平成 30 年度	70	58	50	7	1	65	53	16	10	6	4	0	3	1	1, 173	414	262	133	1, 259	482	330	187
Ī	令和元年度	36	33	30	3	0	31	28	16	11	10	1	0	0	0	927	424	290	124	979	468	321	152
4	令和2年度	53	41	37	4	0	43	34	12	10	8	2	0	1	1	960	504	357	154	1,025	555	401	189
Ī	令和3年度	55	43	35	8	0	46	37	10	6	5	1	0	2	1	829	423	281	135	894	472	329	173
	令和4年度	67	66	58	7	1	57	51	9	8	7	1	0	3	3	564	289	254	115	640	363	314	169

^{※「}一般救急」は、患者家族・市町村・保健所等からの相談等による救急受診の件数である。

(2) 薬物等中毒性精神障害治療

入院

年 度	受入れ実績
平成 29 年度	85 人
平成 30 年度	86 人
令和元年度	81 人
令和2年度	70 人
令和3年度	57 人
令和4年度	32 人

外来

年 度	受診(実人員)
平成 29 年度	383 人
平成 30 年度	375 人
令和元年度	343 人
令和2年度	374 人
令和3年度	371 人
令和4年度	354 人

^{※「}一般救急」の「診察」件数

(3) 児童・思春期精神科医療

① 外来診療 当院における初診患者数と20歳未満の初診患者数の年度別推移

年度	外来初診者数	20 歳未満の	の初診患者
十段	(A)	患者者数(B)	割合(B/A)
平成 29 年度	1,323 人	401 人	30.3%
平成 30 年度	1,242人	338 人	27. 2%
令和元年度	1,222 人	340 人	27.8%
令和2年度	1,236人	356 人	28.8%
令和3年度	1,726人	494 人	28.6%
令和4年度	1,446人	430 人	29.7%

② 20歳未満の初診患者の年齢構成

年度	12 歳以下 (A)	13~15 歳 (B)	16~18 歳	19 歳	計 (C)	15歳以下の 占める割合 (A+B)/C
平成 29 年度	88 人	168 人	119 人	26 人	401 人	63.8%
平成 30 年度	96 人	133 人	88 人	21 人	338 人	67. 7%
令和元年度	130 人	113 人	77 人	20 人	340 人	71.4%
令和2年度	115 人	118人	95 人	28 人	356 人	65.4%
令和3年度	130 人	184 人	142 人	38 人	494 人	63.6%
令和4年度	96 人	154 人	149 人	31 人	430 人	58. 1%

③ 児童・思春期外来の初診患者数と延べ患者数の年度別推移

年度	初診患者数	児童思春期 外来受診者数
平成 29 年度	376 人	7,487人
平成 30 年度	317 人	6, 180 人
令和元年度	320 人	7,624人
令和2年度	328 人	7,902人
令和3年度	318 人	7,954 人
令和4年度	323 人	8, 172 人

④ 入院患者の動向(児童・思春期専門病棟の入院患者の年度別推移)

年度	12 歳以下 (A)	13~15 歳 (B)	16~18 歳	19 歳	20 歳以上	計 (C)	15 歳以下の 占める割合 (A+B)/C	
平成 29 年度	13 人	45 人	35 人	2 人	0人	95 人	61. 1%	
平成 30 年度	16 人	44 人	26 人	1人	0人	87 人	69.0%	
令和元年度	21 人	29 人	26 人	1人	0人	77 人	64. 9%	
令和2年度	24 人	55 人	56 人	8人	0人	143 人	55. 2%	
令和3年度	17 人	53 人	30 人	1人	0人	101 人	69. 3%	
令和4年度	23 人	53 人	29 人	6人	0人	111人	68. 4%	

(4) 医療観察法に基づく入院及び指定通院患者数

年 度	鑑定入院 患者数	入院処遇者実数	通院処遇者実数
平成 29 年度	1人	24 人	2 人
平成 30 年度	1人	19 人	1人
令和元年度	4 人	19 人	1人
令和2年度	2 人	23 人	0 人
令和3年度	3 人	24 人	0人
令和4年度	5 人	23 人	1人

7 各部門の実施状況

(1) リハビリテーション部

①デイケア

体制:看護師3名(うち非常勤2名),精神保健福祉士1名,作業療法士1名

対 象:外来通院中の患者、退院前の患者

実施内容:デイケア及びショートケア (月~金曜)

体力をつけるプログラム・作業能力を高めるプログラム等

外来講師プログラム (絵手紙), 教育プログラム

LST (自閉スペクトラム症の方のための生活対人技能トレーニング)

令和2年度

令和3年度

メタ認知トレーニング・病気との付き合い方トレーニング

WRAP 等 病院行事参加

そ の 他:訪問看護部門と協力し、適宜利用者宅への訪問を行っている

施設見学 (就労支援施設等)

デイケア参加人数

単位:人 令和4年度

	デイケア	2, 555	2, 035	2,097
	ショートケア	2, 973	2, 062	1,544
	入院	2	2	9
プログラ	ム実施状況			
	手工芸	703	450	394
	軽スポーツ	4, 520	3, 206	2, 696
	料理	23	-	-
	園芸	197	81	107
	創作活動	672	544	597
	自主活動	688	557	567
	季節イベント	84	62	130
	ひだまり通信	31	76	87
	七宝焼	55	40	80
教	LST	48	35	39
教 育 プ	病気との付き合い方 トレーニング	44	86	97
ロロ	メタ認知トレーニング	122	155	172
グ	WRAP	144	109	127
ラ	ダイエットプログラム	47	101	_
4	SCIT (R4.2月から)	-	32	81
実	SST	57	90	57
施	就労準備プログラム	239	181	221
状	アンガーコントロール	25	47	4
況	上手に気持ちを伝えるプログラム	68	60	67
グ 師 外 ラ フ ロ 講	絵手紙	52	16	25

注:プログラム実施状況では、すべてのプログラムの実施件数を記載したため、実際の参加人数とは異なる

②作業療法

体制:作業療法士8名

対 象:入院・通院の区別なく、急性期から慢性期まで対応。

実施内容:認知行動療法グループ、疾患別グループ、対象者の健康な部分を活用するグル

ープ、個別プログラムなど特色あるプログラムを実施している。 また、精神科救急入院料病棟に対応したプログラムを開始している。

作業療法の実施状況

単位:人

であくわし						<u>ル・八</u>
年度	令和2	2年度	令和:	3年度	令和4	1年度
	外来	入院	外来	入院	外来	入院
るみえ	-	3, 819	_	2, 685	_	1,946
工芸	-	658	_	618	_	469
アトリエ	-	180	_	192	_	240
春期	-	543	_	515	_	355
269 アルコール ※H25.6から	_	89	97	14	175	58
コグトレ ※H27.10から	32	6	_	_	_	_
ペアトレ	_	_	_	_	_	-
G- TOP	_	9	_	_	_	_
教育〈つばさ〉	13	1	_	10	21	4
母親グループ	4	_	15	-	33	
子どもグループ	4	_	5	-	35	
- 1 病棟		1, 596	_	2, 731	_	1,902
- 2 病 棟		759	_	301	_	286
- 1 病棟		808	_	910	_	884
	軽スポーツ	680	軽スポーツ	616	軽スポーツ	
	学び	31	学び	41	学び	
2 — 2 病 棟		476	ヨガ ストレッチ	511	ヨガ ストレッチ	1,942
		673	フリー活動	726	フリー活動	
		56	病気理解 プログラム	60	病気理解 プログラム 等	
- 3 病棟		963	_	1, 170	_	1, 200
別		133	_	226	_	126
計	115	11, 408	117	11, 326	264	9, 412
	る み え エ 芸 アトリエ 春 期 269 アルコール ※H25.6から コグトレ ※H27.10から ペアトレ G- TOP 教育〈つばさ〉 母親グループ - 1 病棟 - 2 病棟 - 1 病棟 - 1 病棟	外来 るみえ - エ芸 - アトリエ - を期 - 269 - アルコール - ※H25.6から - コグトレ - G- TOP - サイン・カー - 中間のではさり - 日親グループ 4 - 1 病棟 4 - 2 病棟 - - 1 病棟 - - 2 病棟 - - 2 病棟 - - 3 病棟 - - 3 病棟 - - 3 病棟 -	外来 入院 るみえ - 3,819 工芸 - 658 アトリエ - 180 春期 - 543 269 - 89 アルコール ※H25.6から 32 6 コグトレ ※H27.10から	外来 入院 外来 るみえ - 3,819 - 工芸 - 658 - アトリエ - 180 - 春期 - 543 - 269 - 89 97 アルコール ※H25.6から - 89 97 コグトレ ※H27.10から 32 6 - ペアトレ	外来 入院 外来 入院 るみえ - 3,819 - 2,685 工芸 - 658 - 618 アトリエ - 180 - 192 春期 - 543 - 515 269 アルコール ** ** 515 269 アルコール ** ** 515 269 アルコール ** ** ** ※H27.10から 32 6 - - ペアトレ - - - - ペアトレ - - - - ペアトレ - - - - タ育 〈つばさ〉 13 1 - 10 母親グループ 4 - 15 - 子どもグループ 4 - 5 - - 1 病棟 808 - 910 ヤン 病棟 ** ** ** ** **	年度 令和2年度 令和3年度 令和3年度 令和3年度 外来 入院 外来 2.685 - 2.781 - 269 - 301 - 2.731 - 33

注:請求件数外も含む。

ぷるみえ:精神科集団作業療法。軽スポーツを中心に毎日実施。生活リズムをつけ、コミュニケーション技能の練習をすることにより、社会復帰への第一歩を踏み出します。

コグトレ:認知機能強化トレーニング(思春期)

ペアトレ:養育者への子育てサポート

アトリエ:急性期病棟で刺激に弱い方が対象。10名以下の静かな環境で手芸などの活動をします。

個別:保護室での関わりから集団プログラムに参加できない方の個別プログラム実施など個人の病状にあわせ幅広く対応。個別対応が増加傾向。

③理学療法

体 制:理学療法士1名

対 象:廃用や疾患により身体機能が低下した入院中の患者

実施内容:身体機能に合わせて個別に対応し、必要に応じて運動メニューの作成を行って

いる。また、各病棟において実施している。

理学療法の実施状況

単位:人

<u> </u>			平世 · 八
年 度 病 棟	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1-1 病棟	82	109	114
1-2 病棟	263	100	119
1-3 病棟	6	11	27
1-5 病棟	42	17	14
2-1 病棟	151	73	81
2-2 病棟	133	158	140
2-3 病棟	334	378	312
合 計	1,013	846	807

その他:水曜日のぷるみえに参加している。

リハビリテーション科医師への診察依頼(原則月2回)があった場合に同行している。 補装具の相談・検討を行う。必要に応じてリハビリテーション科医師・義肢装具士と連携 する。

必要に応じて病棟と連携し、退院前訪問を行う。

(2) 総合診療部

①心理室

心理療法の状況

豆 八	件数						
区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
個人心理療法	844	717	803	874	818		
集団心理療法	408	274	583	706	629		

心理検査の実施状況

经 DI		件数				
	種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	WAIS-IV(成人知能検査)	171	142	154		
	WISC-IV(児童知能検査)	67	63	42		
	WISC-V	-	_	14		
	田中ビネー知能検査	2	2	2		
	JART	4	2	2		
	ロールシャッハテスト	51	52	31		
パ	MM P I	2	_	-		
リソ	SCT(文章完成法)	46	43	52		
ナ	描画テスト	34	25	31		
リ テ	PF study	88	83	107		
テ	エゴグラム	3	5	3		
ィ 検 査	小児ANエゴグラム	-	2	4		
查	プロジェクティブ・エゴグラム	-	-	-		
	矢田部ギルフォード性格検査	3	2	3		
	WMS-R(ウェクスラー記憶検査)	-	-	_		
	DN-CAS	-	-	_		
	前頭葉機能検査(FAB)	5	10	10		
	コグニスタット認知機能検査	1	_	I		
	記銘力検査	3	1	ı		
認	クレペリン精神作業検査	1	_	ı		
知機能検査その	ベンダーゲシュタルト検査	2	_	-		
機能	ベントン視覚記銘力検査	2	3	1		
検	遂行機能障害群の行動評価(BADS)	6	4	3		
査	TSCC	1	_	-		
ての	Conners 3	26	20	35		
他	CAARS	56	77	56		
0	PARS-TR	8	9	6		
心理	FDT	2	_	-		
理検	小学生の読み書きスクリーニング検査	6	1	3		
査	AQ	126	100	90		
	MMSE-J	2	9	2		
	長谷川式認知症スケール	4	4	2		
	リバーミード行動記憶検査	2	5	1		
	トレイルメイキングテスト	3	1	4		
	その他	5	7	11		
	合 計	732	672	669		

心理教育プログラム

他職種や他機関と協同し実施。

種 別	人数			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
統合失調症心理教育(本人)	15	14	27	
統合失調症家族心理教育	18	28	63	
発達障害家族心理教育	0	11	31	

集団プログラム

多職種で実施。

種別	人数				
(里 万)	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
コンカレントプログラム母親グループ	4	15	34		
コンカレントプログラム子どもグループ	4	6	36		
発達障害小学生プログラム	0	0	0		
薬物・アルコール依存治療グループ	80	112	215		

②栄養科

給食実績

//日 メンマルタ								
	ZTL ON	内 訳					分表标准	
年 度	延べ給食数	患者	首食	啦日本	デイ	その他	栄養指導	
		一般食	治療食	職員食	ケア		個人	集団
令和2年度	233, 230	154, 968	68, 126	3, 160	2, 581	4, 395	437	1,055
令和3年度	222, 611	132, 946	79, 248	3, 950	2,036	4, 431	555	1, 102
令和 4 年度	206, 118	129, 274	66, 644	3, 728	2,092	4, 380	564	955

③薬剤科

調剤実績

V-37 137 C/DC			
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
外来院内処方せん枚数	1,852枚	1,509 枚	1,436枚
入院処方せん枚数(内服・外用)	20,733 枚	20,061 枚	17, 154 枚
入院注射せん枚数	4, 483 枚	2,917件	2,213件
服薬指導件数	1,875件	1,003件	922 件
服薬指導請求件数	1,147件	421 件	481 件
持参薬確認件数	1,098件	753 件	890 件
SST(集団服薬指導)担当回数	26 回	28 回	25 回
薬物家族教室,心理教育担当回数	4 回	5 回	6 回
外来院外処方せん枚数	53,003 枚	56,082 枚	55,835 枚
院外処方せん発行率	96.6%	97.4%	97. 5%

④研究検査科

臨床検査の実施件数(令和4年度)

臨床検査・X線撮影検査の状況

(1) 臨床検査の状況

区分	種	別	件 数	区分	種別	件 数
	肝機能核	全查	28, 178		嫌気性菌検査	39
	腎機能核	資査	7, 859	細菌	真菌検査	5
<i>H</i> -	脂質検査	Ĭ.	5, 851	<u> </u>	その他	11
生化学	内分泌核	資査	4, 223		梅毒検査	1, 396
字	血中薬物	放検査	1, 757		肝炎ウイルス検査	1, 385
	血液ガス	ス分析	8	血清	血液型	13
	その他		24, 071	113	クロスマッチ	0
	血球検査	Ĭ.	27, 374		その他	3, 930
血液	血液凝固	1	569		心電図	815
112	その他		69		脳波	520
	尿検査		13, 875	生理	肺機能検査	_
般	便検査		13		超音波	59
	その他		53		終夜睡眠ポリグラフィ	0
		塗抹	43		その他	243
	般	培養	89		細胞診	_
	般細菌	同定	45	病 理	染色体	_
細菌		感受性検査	44		その他	_
菌		塗抹	17	唐		
	結	培養	17	遺伝子	COVID-19PCR	1, 311
	結核菌	同定	4	十		
		感受性検査	4		計	123, 890

X線検査の状況

種	別	件数
一般	设撮影	988
CT :	撮影	229
MRI	撮影	760
	 	1, 977

(3) 福祉連携サービス部

医療福祉相談室と地域医療連携室が協働して業務を実施している。 患者や家族・地域の関係機関からの相談や依頼に応じるとともに、地域の隠れたニーズの把握に努めている。

- 1 ケースワークに関すること
 - ・ 入院治療に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・外来治療、地域生活に関する福祉相談、ケースワーク
 - ・福祉マップの制作と配布
 - ・カンファレンスの積極的な開催
- 2 連携の積極的な推進
 - ・地域からの相談窓口としての役割
 - ・県立中央病院(同一市内の総合病院)との救急連携

① 医療福祉相談室

- 1 政策医療の推進に関すること
 - ・救急医療の推進
 - 依存症医療の推進
 - ・ 思春期医療の推進
- 2 心理教育に関すること
 - 統合失調症(本人・家族)
 - ・薬物・アルコール依存症 (本人・家族)
 - ・ネット・ゲーム依存症(本人)
 - · 発達障害(本人 · 家族)
 - ・DV 被害者(本人・家族)
- 3 精神科ネットワーク事業に関すること(県内医療機関の連携づくり)

② 地域医療連携室

- 1 アウトリーチ事業に関すること(地域のニーズの掘り起こしと課題解決活動)
 - ・こころの医療連携会議

石岡市、笠間市、鉾田市、茨城町、大洗町、小美玉市の各市町と年 2~3 回ずつケースカンファレンス、勉強会、テーマを定めた協議・検討等を実施している。

小美玉市においては、令和元年度より市主催として開催している。

今年度は、コロナの感染状況に応じてオンラインに切り替えて開催した。年間計画のなか、WEB開催が7回、対面開催が4回となった。

・多職種訪問事業 延べ 75件

うち往診 10 件 従来型アウトリーチ(退院後訪問を含む) 65 件往診のうち 1 件が入院、4 件が通院につながった。

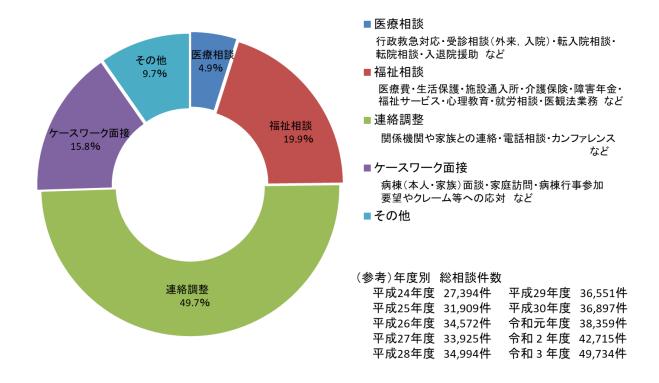
笠間市から「ひきこもり自立支援アウトリーチ事業」を受託し、8件訪問を実施した。

- 2 啓発活動に関すること
 - ・広報誌「こもれび」の発行 (年6回) 各1,000部 編集・発行は第57号から広報委員会に移行。
 - ・講演会,研修会への講師派遣 6団体
- 3 ボランティアの育成と協働事業の開催
 - ・毎月ボランティア定例会を開催し、ボランティアの育成・支援を実施する。
 - ・ボランティアとの協働による院内イベント開催時の支援。
 - さくらまつり、サマーコンサート、文化祭、クリスマスコンサート

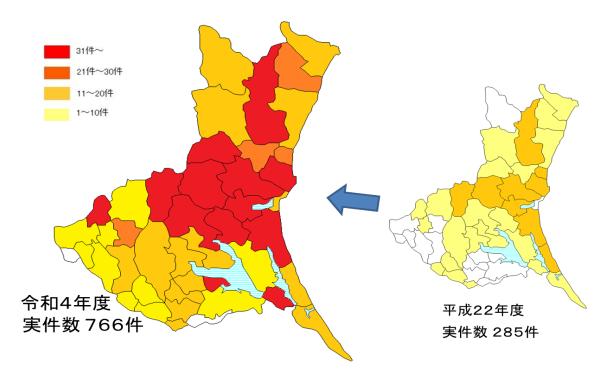
・玄関案内(随時)や合併症病棟のボランティア散歩(月2回)等への支援。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年度も全面見合わせ。

令和4年度 PSW業務実績内容



市町村別 受診相談件数(人口10万人あたり)の推移



公開講座開催実績

回数	開催	年月	テ ー マ	講師
第1回		6月	「病は夜つくられる」 〜睡眠時無呼吸症候群と心身の健康〜	こころの医療センター 病院長 土井永史
第2回		7月	「オレ、クスリやめたいんだ・・・」 ~薬物依存症の入門からリハビリまで~	こころの医療センター 副院長 中村惠・医療局長 妹尾栄一
第3回	平成	8月	「傷つく子どもたち助けたい大人たち」 ~児童思春期精神科医療を訪れる子どもたち~	こころの医療センター 医療局長 清水文雄
第4回	23年	9月	「幸せの黄色い教急車」 ~精神和に入院が必要なとき~	こころの医療センター 医長 白鳥裕貴
第5回	-	10月	「特性付に入いかとなること」 「うちに帰りたいんだ…退院できるかなぁ」 〜慢性期統合失調症のリハビリと地域ケアについて〜	ロッカリ ロッカリ ロッカー 医療局長 影山治雄
第6回	-	11月	「日本の作品を通信のからからからからない。」 「これってホントに認知症?」 ~認知症の鑑別診断~	ルロル ルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
第7回		1月	〜 あれ近の編列を制へ 「いいMRJ人りました」 〜最先端の脳画像検査〜	こころの医療センター
第8回		2月	「うつと自殺」	医師 石川和宏·医師 田村昌士 筑波大学大学院講師 太刀川弘和
特別公開講座	•	3月	若者の自殺はどのようにして防げるのか~「うつについて」	こころの医療センター 医師 井口俊大 こころの医療センター 医師 井口俊大
第9回	-	5月	「神経を癒す電磁気の力」	ガロ核人 こころの医療センター 病院長 上井永史
第10回		6月	~電気磁気刺激療法の新しい展開~ 「シネマ処方箋」 ************************************	筑波大学 医学医療系教授 高橋祥友
第11回	平成, 24年	7月	〜精神科医がすすめる、こころの病を描いた映画〜 「児童・思春期精神科の入院」	こころの医療センター 医療局長
第12回	-	8月	〜一般精神科入院医療との違い〜 「思春期の摂食障害」	清水文雄 こころの医療センター
第13回	-	9月	〜エビデンスにもとづくアブローチ〜 「こころのサインに気づく・つなげる」	副院長 中村惠·臨床心理士 稲沼邦夫 筑波大学 医学医療系教授
第14回	ŀ	10月	~自殺予防の基礎知識~ 「たまにはマジメな薬のお話でも…」	高橋祥友 ころの医療センター 医師
第15回			・抗精神病薬の神経保護作用について~「認知症ってどんな病気・予防できるの?」	石川和宏 筑波大学 医学医療系臨床医学域精神医学教授
第16回		1月	「最近の若者のメンタルヘルス」	朝田隆 筑波大学保健管理センター医師
第17回		1月	〜自殺予防の観点も踏まえて〜 「薬物依存症の理解と対策」	太刀川弘和 こころの医療センター 副院長
第18回		4月	~薬物専門外来の役割について~ 「光でみる脳と心」	中村惠 東京都医学総合研究所
第19回	平成 25年	6月	~思考と感情のしくみを探る~ 「うつ病に気付く・うつ病を治す」	ヒト統合脳機能プロジェクトリーダー 星詳子 こころの医療センター 医療技術部長
			〜光トポグラフィ検査にも触れて〜 「痛みにおけるこころと身体の問題」	大嶋明彦
特別講座		10月	~痛みに対する身体的・心理的アプローチ~	東京都保健医療公社荏原病院 県立中央病院 総合診療科医長 関義元
第20回			「身体科と精神科の連携」 「精神医学的にみた夏目漱石」	県立中央病院 副院長 鏑木孝之 筑波大学大学院 人間総合科学研究科教授
第21回	-	3月	~病みながら生きる者への畏敬~	高橋正雄 帝京大学附属病院 精神科病院教授
第22回	平成 26年		「パーソナリティ障害の理解と対応・治療」 「やる気が起きない…」「不安もいっぱい…」	林直樹 こころの医療センター 医長
第23回	·	6月	適応障害の正しい知識と対応方法 発達障害と医療	山形見彦 こころの医療センター 医長
第24回		8月	~本人の困っている思いと周囲はどのように付き合うのか~	藤田俊之
市民公開講座	-	3月	「睡眠・体内時計と健康づくり」 「病は夜つくられる」	日本大学医学部 教授 内山真 筑波大学睡眠医学講座 教授
市民公開講座	-	3月	・別はな ノっこんの」 〜睡眠呼吸障害と歯科・医科・薬科連携〜 「睡眠・覚醒の謎に挑む」	佐藤誠
市民公開講座	平成 27年	3月	~神経科学研究の最前線~	筑波大学国際統合睡眠科学研究機構 教授 柳沢正史
第25回	2/4	6月	「大人の発達障害」 ~本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか~	こころの医療センター副院長 堀孝文
睡眠フォーラム in水戸		8月	「不眠時処方を一生に一度くらい考えてみる」	スタンフォード大学精神医学科 睡眠医学部門 クリニカルインストラクター 河合真
第26回		9月	「大人の発達障害」日本人の困っている思いと周囲はどう関われるのか~	こころの医療センター副院長 堀孝文
第27回	平成	6月	「職場のメンタルヘルス」	こころの医療センター 医長 山形見彦
第28回	28年	10月	「災害時のこころの支援」	筑波大学 医学医療系准教授 こころの医療センター 地域・災害支援部長 高橋晶
第29回	平成29年	9月	「薬物・アルコール依存について」	こころの医療センター 副院長 妹尾栄一
第30回	平成	3月	「解離性障害について」	こころの医療センター 医師 日向 勝之
第31回	30年	9月	「境界性パーソナリティ障害について」	こころの医療センター 医師 水谷 洋介
第32回	平成	2月	「シネマ処方箋~映画にみるこころの病~」	筑波大学 医療医学系 教授 災害·地域精神医学 高橋 祥友
第33回	31年	5月	「ねむりの問題について考えましょう」	こころの医療センター 医師 神林 崇 こころの医療センター 医師 近藤 英明
第34回	令和	2月	「依存症について」	こころの医療センター 医師 小松﨑 智恵
第35回	4年	6月	「発達障害について」	こころの医療センター 医師 藤田 俊之
第36回	令和5年	3月	「摂食障害について」	こころの医療センター 医師 兒玉 貴久子
				1

(4) 訪問看護

- ① 開始日:平成6年4月1日
- ② 体 制:看護師6名(再任用1名)、専用車3台
- ③ 目 的:利用者に安心感を与え、周囲の人々とのつながりを持ちながら、可能な限り居宅で生活できるように支え、また、利用者自身が自らの力で問題解決をしながら生活を営めるように、様々な側面を支援する。

④支援内容:

○異常の早期発見・再燃の予防

症状の観察・副作用の観察・服薬管理・受診行動(社会資源の活用)への援助・対処行動の指導・合併症のコントロール・身体状態の観察と指導など

- ○日常生活行動の援助:生活上の困り事への援助と調整、生活スキルの維持・向上支援
- ○対人関係調整
- ○健康の維持・向上の援助
- ○利用者の状態や困り事、社会資源の活用に関する多職種との連携 医師・外来看護師・病棟看護師・ケースワーカー・デイケアスタッフ・作業療法スタッフ・市町村職員(福祉関係・保健関係)・地域活動支援センターなどの社会資源のスタッフなど

④ 訪問件数の推移

年度	訪問件数	うち複数名による 訪問件数	年間対象者数 (年度末日)
平成 29 年度	3,446件	2,098件	231 人
平成 30 年度	3,517件	2,029件	237 人
令和元年度	3,113件	1,805件	223 人
令和2年度	2,464件	1,278件	220 人
令和3年度	2,510件	1,613件	198 人
令和4年度	2,737件	1,290件	191 人

⑤ 利用者等

利用者は、50 代が 20%、60 代が 23%、70 歳以上が 21% と高齢化が進んでいる。

ii 睡眠医療クリニック

1 外来患者

単位:人

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	計	1日平均患者数 (診察日数)
平成 29 年度	初	診	37	33	47	40	30	33	37	37	29	33	25	30	411	
	再	診	99	132	134	155	169	155	185	172	210	197	175	183	1, 966	11.7人 (203日)
	延患	者数	136	165	181	195	199	188	222	209	239	230	200	213	2, 377	(= : : , :)
	初	診	51	49	56	49	29	31	28	21	30	25	26	26	421	
平成 30 年度	再	診	208	227	243	269	261	262	311	266	304	279	311	269	3, 210	17.5人 (208日)
	延患	者数	259	276	299	318	290	293	339	287	334	304	337	295	3, 631	
	初	診	29	26	44	44	25	32	48	25	43	37	44	30	427	21.8人(207日)
令和元年度	再	診	326	264	324	348	293	344	350	340	395	378	359	357	4, 078	
	延患	者数	355	290	368	392	318	376	398	365	438	415	403	387	4, 505	
	初	診	24	17	29	46	35	30	31	24	33	20	30	29	348	
令和2年度	再	診	410	322	346	367	360	342	367	356	394	342	362	385	4, 353	30.7人 (153日)
	延患	者数	434	339	375	413	395	372	398	380	427	362	392	414	4, 701	(100 円)
	初	診	21	20	3										44	
令和3年度	再	診	414	316	54										784	48.7人 (17日)
	延患	者数	435	336	57										828	(11 日)

[※]令和3年10月に閉院。

2 主な検査実績

終夜睡眠ポリグラフィー検査 (携帯型装置使用) 163件

3 診療圏(令和3年度)

	市郡名		患者数 人	構成比%		市郡	名	患者数 人	構成比 %		市郡名	<u></u>	患者数 人	構成比 %
水	戸	市	247	46. 7	鹿	嶋	; 市	6	1. 1	東	茨城	え 郡	22	4. 2
日	並	市	25	4. 7	潮	来	市	0	0	那	珂	郡	11	2. 1
土	浦	市	4	0.8	守	谷	市	0	0	久	慈	郡	2	0.4
古	河	市	0	0	常	陸 大	:宮市	12	2. 3	稲	敷	郡	0	0
石	岡	市	7	1.3	那	ŦŊ	市	25	4. 7	結	城	郡	0	0
結	城	市	0	0	筑	西	i市	0	0	猿	島	郡	0	0
龍	ケー崎	市	1	0.2	坂	東	市	0	0	北	相馬	那	0	0
下	妻	市	0	0	稲	敷	(市	0	0	君	ß	計	35	6. 7
常	総	市	0	0	カュ	すみが	うら市	1	0. 2	県	内合	計	528	99.8
常	陸太田	市	21	4. 0	桜	Л	市	5	0.9					
高	萩	市	2	0.4	神	栖	i 市	2	0.4	東	京	都	1	0.2
北	茨 城	市	4	0.8	行	方	市	4	0.7	そ	の他	」県	0	0
笠	間	市	44	8. 3	鉾	田	市	11	2. 1	県	外合	計	1	0. 2
取	手	市	0	0	つ	くばみ	らい市	0	0					
牛	久	市	0	0	小	美	玉市	8	1. 5					
つ	くば	市	5	0.9		市	計	493	93. 1					
V	たちなか	市	59	11. 1						紛	<u> </u>	計	529	100

[※]令和3年10月に閉院。

V 決算の状況

1 損益計算書(税抜き)

令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和元年度 項目 4, 332, 421, 606 3, 689, 338, 793 病院事業収益 3, 864, 652, 601 4,064,119,821 (1)医業収益 2, 884, 461, 482 2, 900, 217, 021 2, 830, 445, 453 2, 648, 976, 258 入院収益 2, 100, 020, 065 | 2, 122, 804, 737 2, 036, 766, 274 1,870,419,719 外来収益 529, 852, 605 520, 028, 653 502, 769, 661 490, 109, 512 その他医業収益 254, 588, 812 257, 383, 631 290, 909, 518 288, 447, 027 (2) 医業外収益 979, 924, 839 1, 159, 197, 406 1, 489, 045, 424 1, 040, 362, 535 受取利息 82, 410 18, 318 19, 111 21, 277 他会計補助金 18, 234, 660 225, 469, 120 526, 923, 420 90, 600, 320 750, 562, 000 他会計負担金 751, 184, 000 721, 944, 000 745, 777, 000 患者外給食収益 1, 189, 884 1, 220, 373 1,577,830 1, 492, 784 長期前受金戻入 139, 663, 280 143, 437, 336 143, 071, 802 126, 367, 159 資本費繰入収益 55, 388, 000 54, 888, 000 57, 600, 000 45, 987, 000 その他医業外収益 14, 182, 605 12, 220, 259 14, 076, 261 25, 331, 995 (3)特別収益 266, 280 4, 705, 394 12, 930, 729 0 3, 961, 007, 840 病院事業費用 3, 997, 061, 516 4, 122, 234, 852 3, 972, 516, 214 (1) 医業費用 3, 832, 059, 728 3, 859, 675, 839 3, 977, 342, 552 3, 809, 942, 151 給与費 2, 725, 633, 278 2, 753, 025, 709 2, 866, 518, 434 2, 734, 546, 109 材料費 151, 923, 660 153, 539, 299 149, 591, 945 152, 959, 248 経費 621, 567, 036 632, 280, 150 620, 421, 772 632, 261, 109 減価償却費 319, 589, 687 313, 454, 431 279, 999, 866 309, 462, 577 789, 033 資產減耗費 1, 489, 400 23, 592, 764 2, 336, 845 研究研修費 12, 557, 034 5, 886, 850 7, 755, 060 7, 838, 974 133, 117, 046 (2) 医業外費用 124, 876, 878 139, 783, 828 156, 728, 513 支払利息 50, 613, 919 48, 855, 627 47, 124, 473 44, 316, 799 雜費用 74, 262, 959 84, 261, 419 92, 659, 355 112, 411, 714 (3) 特別損失 4,071,234 4, 268, 631 5, 108, 472 5, 845, 550 67, 058, 305 (収益)- (費用) \triangle 96, 355, 239 210, 186, 754 $\triangle 283, 177, 421$

(単位:円)

2 貸借対照表(税抜き)

2	貨借	対照表(税抜き)				(単位:円
/ 項	月	年 度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		土地	6, 510, 735	6, 510, 735	6, 510, 735	6, 510, 735
		建物	3, 575, 295, 574	3, 406, 819, 115	3, 214, 359, 400	3, 107, 389, 334
		構築物	144, 693, 660	106, 050, 629	74, 616, 363	65, 185, 929
		器械備品	372, 165, 254	326, 166, 788	280, 056, 275	223, 191, 835
	固定資産	車両	4, 076, 483	3, 892, 541	2, 935, 191	2, 210, 944
		リース資産	6, 722, 256	32, 637, 263	23, 407, 274	18, 269, 093
	産	建設仮勘定	0	0	11, 727, 273	0
資		電話加入権	38, 000	38, 000	38, 000	38, 000
		その他無形固定資産	20, 188, 576	16, 906, 690	13, 624, 804	10, 342, 918
産		長期前払消費税	22, 310, 802	25, 555, 927	24, 930, 204	25, 987, 967
		計	4, 152, 001, 340	3, 924, 577, 688	3, 652, 205, 519	3, 459, 126, 755
	流動資産	現金・預金	1, 381, 660, 895	1, 305, 366, 347	1, 650, 019, 106	1, 502, 592, 482
		未収金	479, 082, 574	614, 076, 233	571, 183, 070	473, 406, 906
		貸倒引当金	△35, 330, 865	△25, 544, 461	△11, 385, 632	△27, 840, 666
		貯蔵品	6, 975, 291	11, 418, 310	8, 580, 578	7, 521, 923
		計	1, 832, 387, 895	1, 905, 316, 429	2, 218, 397, 122	1, 955, 680, 645
	資產	在合計	6, 445, 303, 105	5, 984, 389, 235	5, 829, 894, 117	5, 414, 807, 400
	固定	その他固定負債	3, 464, 406, 226	3, 292, 392, 185	3, 156, 437, 105	3, 054, 947, 478
	固定負債	計	3, 464, 406, 226	3, 292, 392, 185	3, 156, 437, 105	3, 054, 947, 478
	流	未払金	252, 534, 045	234, 457, 665	292, 094, 225	338, 072, 725
負	動負債	その他流動負債	453, 124, 902	469, 675, 236	426, 241, 328	354, 063, 939
	債	計	705, 658, 947	704, 132, 901	718, 335, 553	692, 136, 664
債	繰	長期前受金	2, 081, 505, 155	2, 176, 929, 155	2, 272, 275, 155	2, 353, 713, 010
	延収益	収益化累計額	△1, 034, 105, 340	△1, 177, 542, 676	△1, 320, 614, 478	△1, 446, 981, 637
	益	計	1, 047, 399, 815	999, 386, 479	951, 660, 677	906, 731, 373
	負債	青合計	5, 217, 464, 988	4, 995, 911, 565	4, 826, 433, 565	4, 653, 815, 515
	資本	自己資本金	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648
	本金	計	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648	3, 852, 950, 648
	和	資本剰余金	-	-	-	_
	剰余金	利益剰余金	△3, 086, 026, 401	△3, 018, 968, 096	△2, 808, 781, 342	△3, 091, 958, 763
	金	計	△3, 086, 026, 401	△3, 018, 968, 096	△2, 808, 781, 342	△3, 091, 958, 763
	資本	本合計	766, 924, 247	833, 982, 552	1, 044, 169, 306	760, 991, 885
負債	責・資	資本合計	5, 984, 389, 235	5, 829, 894, 117	5, 870, 602, 641	5, 414, 807, 400

3 財務分析

項	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	固定資産構成比率	69. 4	67. 3	62. 2	63. 9
資産品	自己資本構成比率	12.8	14. 3	17.8	14. 1
資産及び資本構成	固定比率	541. 4	470.6	349.8	454. 6
構成	固定資産対長期資本比率	98. 1	95. 1	86. 9	90. 6
%	流動比率	259. 7	270.6	308.8	282. 6
	現金比率	195.8	185. 4	229. 7	217. 1
回	自己資本回転率	0. 75	0. 75	0.73	0. 69
回転率 (回)	固定資産回転率	0. 67	0.74	0.75	0.75
	未収金回転率	5. 64	4. 72	4. 78	5. 07
 損 益	総収益対総費用比率	97. 6	101. 7	105. 1	92. 9
損益比率(医業収益対医業費用比率	75. 3	75. 1	71. 2	69. 5
%	不良債務比率	_	_	_	_

4 経営分析

1	年	度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
病床利用率(%)			78. 4	78. 1	72. 7	67. 5
外来入院患者比率	(%)		90.3	90.0	94. 0	100. 1
		入院	9.8	9. 4	8. 1	8.0
1日あたり	医師	外来	8.9	8. 4	7. 6	8. 0
患者数 (人)	看護	入院	1. 2	1.2	1. 1	1. 0
	部門	外来	1. 1	1. 1	1. 1	1.0
患者1日1人あた	り	入院	26, 501	26, 987	27, 803	27, 508
診療収入 (円)		外来	7, 409	7, 344	7, 305	7, 202
職員1日1人あた	. b	医師	326, 611	314, 810	281, 140	278, 167
診療収入	(円)	看護 部門	39, 051	40, 226	39, 070	36, 299
患者1日1人あた 薬品費		投薬	405	387	373	345
	.り (円)	注射	404	425	446	503
		計	809	812	819	848
	(9/)	投薬	94.8	98. 2	97. 4	92. 9
薬品使用効率	(%)	注射	100.7	103. 4	108. 1	110. 2
医療材料消費率		(%)	5. 7	5.8	5.8	6. 4
診療収入に	投薬注射	村収入	4. 5	4.6	4.7	5.0
対する割合	検査収え	λ	1.2	1.3	1.6	1.9
(%)	放射線山	又入	0.4	0.4	0.5	0.5
	薬品費		4. 2	4.2	4. 1	4. 4
対医業収益費 (%)	その他村	才料費	1. 1	1. 1	1.2	1. 4
	職員給与	5費	94.9	94. 9	101.3	103. 2
患者100人 あたり	検査件数	汝	89.8	89.8	90. 2	91. 1
(件)	放射線係	牛数	1.7	1.7	1.5	1. 5
病床100床	医師		8.3	8.3	8.7	8.0
あたり職員数 (人)	看護部門		65. 2	65. 2	64. 5	65. 2
	全職員		97. 5	97. 5	96. 4	96. 7
職員1人あたり給	:与費(千	円)	7, 410	7, 502	7, 424	7, 463

^{*}病床利用率は、運用病床で算出している。

Ⅵ 令和5年度予算

1 収益的収入及び支出

	ĺ	収入		+T	1	н		千円, %)
		款		項		目	予算額	構成比
		事業収益		F 314 (I→ 24			4, 153, 669	100
			1	医業収益		→ 1200 100 × 100	3, 132, 235	75. 4
					1	入院収益	2, 288, 569	55. 1
					2	外来収益	544, 392	13. 1
					3	その他医業収益	299, 274	7. 2
			2	医業外収益		がた 有力	1, 020, 434	24. 6
					1	受取利息	300	0
					2	他会計補助金	70, 106	1. 7
					3	他会計負担金	795, 040	19. 2
					4	患者外給食収益	1, 048	0
					5	長期前受金戻入	121, 754	2.9
					6	資本費繰入収益	15, 524	0. 4
					7	その他医業外収益	16, 662	0.4
			3	特別利益			1,000	0
					1	固定資産売却益	0	0
					2	過年度収益修正益	1,000	0
	ĺ	支出			1		- bobs stars	Latte D. L.
		款		項	1	目	予算額	構成比
		事業支出					4, 124, 682	100
			1	医業費用		ルト 曲	4, 040, 413	98. 0
					1	給与費	2, 851, 901	69. 2
					2	材料費	180, 371	4. 4
					3	経費	758, 329	18. 4
					4	減価償却費	231, 703	5. 6
					5	資産減耗費	2, 510	0
					6	研究研修費	15, 599	0.4
			2	医業外費用			77, 269	1. 9
					1	支払利息	43, 493	1. 1
					2	雑費用	27, 705	0.7
					3	消費税	1,600	0
			3	特別損失			6,000	0. 1
					_1	固定資産売却損	0	0
					2	過年度損益修正損	6,000	0. 1
					3	その他特別損失	0	0
			4	予備費			1,000	0
2	資本	め収入及び支	出					
	i	収入		_				千円, %)
		款		項		目	予算額	構成比
		資本的収入		A MIGHT.			222, 811	100
			1	企業債		A JUL H	125, 000	56. 1
				h. I.	1	企業債	125, 000	56. 1
			2	負担金		to too A	97, 811	43. 9
					1	負担金	97, 811	43. 9
			3	補助金			0	0
					1	国庫補助金	0	0
	i	支出				— <u> </u>	- holes days	Lette D. r.
		款		項		<u> </u>	予算額	構成比
		資本的支出		71			327, 328	100
			1	建設改良費		74.20.77. 4	131, 527	40. 2
					1	建設改良工事	46, 717	14. 3
					2	資産購入費	78, 387	24. 0
				Pole a man of	3	リース資産購入費	6, 423	1. 9
			2	償還金		A SILL PLATER A	195, 621	59. 8
				La M	1	企業債還金	195, 621	59. 8
		I	3	投資			180	0
			J	1人员	1	その他投資	180	0

Access Map



交通のご案内

○JR友部駅からバス(茨城交通)をご利用の場合

- 「こころの医療センター・モノタロウ前行き」に乗り、 「こころの医療センター」下車
- 「水戸駅行き」「循環」に乗り、 「友部第二小学校前」下車、徒歩8分

◎自動車をご利用の場合

- JR友部駅から約7分
- 常磐自動車道水戸ICから約20分
- 常磐自動車道岩間ICから約20分
- 常磐自動車道友部SAスマートIC(ETC専用)から約15分
- 北関東自動車道友部ICから約10分



予 約

当院の外来診療は予約制です。

■外来初診予約センター TEL.0296-77-1359 ■予約の変更・キャンセル TEL.0296-77-1159 ■児童・思春期予約センター TEL.0296-77-1624 ■予約の変更・キャンセル TEL.0296-77-1151

月曜日から金曜日まで (祝祭日・12月29日から1月3日までを除く。)



茨城県立こころの医療センター

〒309-1717 茨城県笠間市旭町 654

電話: 0296-77-1151(代表)

(URL) https://www.mc-kokoro.pref.ibaraki.jp/